

高活協通信(2023年12月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

■お知らせ

- 今月の“「定年後の仕事」情報欄”は、「第18回中高年者縦断調査」の結果を掲載しました。
- 高活協通信「今月の一冊」は、「人生の腕前」です。
- 高活協ホームページを更新しました。
 - ・「高活協ホームページ」のURLは以下の通りです。

<http://www.agenomics.org>

高活協は会員の皆様に毎月1回「高活協通信」を配信させていただいております。この通信活動を会員の皆様と高活協とのコミュニケーションの機会とさせていただきたく考えております。つきましては、皆様のご意見や提供したい話題などがございましたら、本配信メールへの返信にてお寄せいただければ幸いです。

■2023年11月の主な活動

- 高活協は現在、シンポジウムなど人が多く集まるイベント活動を停止しております。ただし、少人数の会議・イベント等、あるいはZOOM等を利用したオンラインの会議・イベント等は適宜実施しております。
- 2023年11月4日、「70歳を超えても無理なく続けられる仕事探し」をテーマとした専門家討論会(2023年11月30日開催)に関して、討論会の招聘者や論点などについて、共催者であるシニアセカンドキャリア推進協会とすり合わせを行いました。例えば討論会の論点としては、高齢者に向けた仕事とは何か、仕事情報にアクセスしやすくしマッチングをより効率化するには何が必要か、などが候補になりました。
- 2023年11月30日、「70歳を超えても無理なく続けられる仕事探し」をテーマとした専門家討論会を開催しました。専門家としては、モザイク型就労やマッチングアプリ「GBER」で有名な檜山敦東京大学特任教授、シルバー人材センター研究で名高い塚本成美城西大学教授、ベストセラー“ほんとうの定年後「小さな仕事」が日本社会を救う”の著者でリクルートワークス研究所の坂本貴志研究員/アナリスト、高齢者派遣の人材会社「高齢社」の村関不三夫代表取締役社長などが参加されました。
- “「定年後の仕事」情報欄”では、厚生労働省が公表した「第18回中高年者縦断調査」を掲載しました。
- 高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ページにおいて、「高活協通信(2023年11月号)」を掲載しました。
- 2023年11月、生涯現役社会の実現に向けた行政や企業などの動向に関する情報収集を行いました。なお、「◆◆◆生涯現役社会の実現に向けてー トピックス◆◆◆」のコーナーでは、“「定年後の仕事」関連情報”を適宜掲載していきます。

◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)

<http://www.agenomics.org/>

◆◆◆高活協会員関連イベント等のご紹介◆◆◆

会員のご希望があればご紹介記事を適宜掲載させていただく予定です。

◆◆◆生涯現役社会の実現に向けて – トピックス◆◆◆

生涯現役社会は、「職業寿命」「社会活動寿命」「健康寿命」「資産寿命」という 4 つの寿命の延伸が相乗効果をもたらす社会、すなわち「それぞれの寿命の伸びが相互に他の寿命も伸ばす」という好循環がもたらされる社会です。そんな生涯現役社会の実現に向けた最近の動きを紹介していきます。

■ちょっとした話 – NEVERTIREE という英単語をご存じ？

我が国では、どんな分野であれ、引退しないで活動を続ける(人の)ことを「生涯現役」と言います。この「生涯現役」と同じ意味の言葉を、一つの単語として表現している外国語(例えば英語)を見かけることは今までほとんどなかったように思います。例えば、生涯現役は英語で「active for life」などと訳されていました。

しかし最近、「生涯現役」を一つの単語に訳した英語を見かけるようになりました。その単語は「nevertiree」です。すなわち、

「NEVERTIREE=a person who intends to carry on working and never to retire」
です。

この単語は、「never」(決して・・・ない)と「retiree」(=引退者)の合成語で、「決して引退しない者」を表現しています。この単語が英語圏でどの程度普及しているのかわかりませんが、世界的に高齢化が進んでいる今、英語圏でも「生涯現役」という言葉が使われるようになってきたのかなという気がしています。

■「定年後の仕事」情報欄

○2021年4月から施行された改正高年齢者雇用安定法(=70歳就業法)では、定年後の継続雇用だけでなく、継続的な業務委託や社会貢献活動への支援といった措置も選択肢になっており、高齢者の多様な働き方を後押ししています。

○今後このトピックスのコーナーでは、「定年後の仕事」に関連した情報を適宜掲載していきます。高齢者の就業を考える際の参考にしていただければ幸いです。

厚生労働省「中高年者縦断調査」

厚生労働省は、2005 年度を初年として、団塊の世代を含む全国の中高年者世代の男女を追跡して、その就業等について、変化の過程を継続的に調査しています。調査対象者の年齢は、初年度の 2005 年 10 月末時点で 50～59 歳であった全国の男女です。

厚生労働省は 2023 年 11 月 15 日、この「中高年者縦断調査」の第 18 回調査(2022 年度)の結果を公表しました。

第 18 回調査では、第 1 回調査から継続して協力が得られた 16043 人について集計しています。ちなみに第 18 回調査における対象者の年齢は第 1 回から 17 年経っていますから、67～76 歳になっています。

(第 18 回調査の集計結果の概要)

○同一の中高年世代(16043 人)の追跡調査

- ・第 1 回(2005 年)～第 18 回(2022 年)
- ・第 1 回時の年齢＝50 歳～59 歳 → 第 18 回時の年齢＝67 歳～76 歳

○仕事をしている人の変化

第 1 回＝13125 人(81.8%) → 第 18 回＝6081 人(37.9%)

○第 18 回の仕事をしている人の内訳:

- ・正規＝422 人(6.9%) ← 第 1 回＝6194 人(47.2%)
- ・パート・アルバイト＝2268 人(37.3%)
- ・自営業・家業＝1912 人(31.4%)
- ・派遣＝690 人(11.3%)

○75 歳以降になったときの仕事の希望(16043 人中)

- ・仕事をしたい＝2144 人(13.4%)
- ・仕事はしたくない＝4545 人(28.3%)
- ・まだ考えていない＝9354 人(58.3%)

第 18 回調査時に仕事あり(6081 人中)

- ・仕事をしたい＝1652 人(27.2%)
- ・仕事はしたくない＝548 人(9.0%)
- ・まだ考えていない＝3881 人(63.8%)

第 18 回調査時に仕事なし(9908 人中)

- ・仕事をしたい＝492 人(5.0%)
- ・仕事はしたくない＝3988 人(40.3%)
- ・まだ考えていない＝5428 人(54.8%)

○75 歳以降になったときの「仕事をしたい」人(2144 人中)の内訳

- ・パート＝666 人
- ・自営業＝575 人
- ・家業手伝い＝209 人

以上が第 18 回調査の概要ですが、75 歳以降の仕事希望について、「まだ考えていない」人が 9354 人もいることは驚きです。「第 18 回調査時に仕事なし」の人でも、「仕事はしたくない」人を上回る 5428 人 (54.8%) の人が「まだ考えていない」と答えています。どうするか迷っているのか、あるいは仕事が見つからないから半ばあきらめているのかわかりませんが……。

◆◆◆読み物コーナー◆◆◆

■今月の 1 冊

人生 100 年時代を迎え、シニア層の増加を意識した書籍が増えているようです。このコーナーでは、高齢者の就労に関わるテーマや高齢者の社会参加、ライフスタイル、健康問題などを取り上げている書籍を紹介します。

書 名: 人生の腕前

著 者: 岡崎 武志

出版社: 光文社 (光文社文庫)

(URL <https://www.kobunsha.com/shelf/book/isbn/9784334100797>)

定 価: 814 円 (税込)

今回は、常識にとらわれない生き方を貫き、人々の記憶に残る人生を送った人の生き方・考え方に焦点を当てた書籍を紹介します。

本書の序文には、次のようにあります。「刻苦勉励、日々努力、今日より明日は成長しようと駆け抜けた人の人生からは、あまり学ぶことはない気がする。えらいとは思いますが真似はできない。どこかだらしく、ボタンをはずして寝転んでいるような人生にこそ私が思うよき人生のモデルケースがある」。本書で取り上げられている人は、たとえば言うならば、“ノーベル賞を受賞するような人”とは次元の異なる生き方をしてきた人なのかも

もしれません。本書には、井伏鱒二^{いぶせますじ} (作家、1898～1993)、高田 渡^{わたる} (フォークシンガー、1949～2005)、吉田

健一^{けんいち} (英文学者・作家、1912～1977)、木山捷平^{しゅうへい} (1904～1968)、田村隆一^{たむら たかひ} (詩人、1923～1998)、古今亭志

ん生^{しんせい} (落語家、1890～1973)、佐野洋子^{ようこ} (絵本作家・エッセイスト、1938～2010) の 7 人が取り上げられています。

著者は、この方々の著書やインタビュー記事、映像などを丹念に読み解き、他人の評価や世間の常識に流されず、心のままに生き、そして素晴らしい仕事を成し遂げて旅立っていったのか、に迫っています。巻末には、現時点で入手可能な、この方々の著書などが「ブックガイド」として紹介されていますので、さらに深掘りしたい人にとっては役に立つのではないのでしょうか。「きっちりとし過ぎていない人生」という選択肢もあるということを感じさせてくれる、好著だと思われま

このコーナーは今回が最終回です。会員の皆さまへの情報提供の一環として始めましたが、少しでもお役に立ったとすれば望外の幸せです。

(特別会員:坂巻 大)

■高齢者雇用の総合誌『エルダー』のご紹介

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が発行する高齢者雇用の総合誌「エルダー」に関する情報は、下記の URL からご覧いただけます。

[啓発誌「エルダー」 | 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 \(jeed.go.jp\)](http://jeed.go.jp)

◆◆◆ ◆◆◆
配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍支援協議会・事務局までご連絡ください。

本通信に対するご意見やご感想をお聞かせください。

また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 17-2 兜町第 6 葉山ビル 4 階

TEL: 03-6555-3926 HP: <http://www.agenomics.org>
